

作成日 2003年10月6日
改訂日 2011年6月8日

製品安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称	アーデント水和剤
会社名	CBC株式会社
住所	東京都中央区月島2-15-13
電話番号	03-3536-4753
緊急時の電話番号	03-3536-4753
FAX番号	03-3536-4743
メールアドレス	isago@cbc.co.jp

2. 危険有害性の要約

GHS分類 分類実施日

物理化学的危険性

H21.3.27、政府向けGHS分類ガイダンス(H20.9.5版)を使用

火薬類	分類対象外
可燃性・引火性ガス	分類対象外
可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
支燃性・酸化性ガス類	分類対象外
高压ガス	分類対象外
引火性液体	分類対象外
可燃性固体	区分外
自己反応性化学品	分類対象外
自然発火性液体	分類対象外
自然発火性固体	区分外
自己発熱性化学品	区分外
水反応可燃性化学品	分類対象外
酸化性液体	分類対象外
酸化性固体	分類対象外
有機過酸化物	分類対象外
金属腐食性物質	区分外
健康に対する有害性	
急性毒性(経口)	区分外
急性毒性(経皮)	区分外
急性毒性(吸入:ガス)	分類対象外
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入:粉じん)	分類できない
急性毒性(吸入:ミスト)	分類できない
皮膚腐食性・刺激性	区分3
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分2B
呼吸器感作性	分類対象外
皮膚感作性	分類対象外
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	分類できない
吸引性呼吸器有害性	分類できない

環境に対する有害性	水生環境急性有害性	区分1
	水生環境慢性有害性	区分1
ラベル要素 絵表示又はシンボル		



注意喚起語 危険有害性情報	警告 軽度の皮膚刺激 眼刺激 水生生物に非常に強い毒性 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性
注意書き	

【安全対策】
 取扱い後、手をよく洗うこと。
 環境への放出を避けること。

【応急措置】
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。
 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。
 漏出物を回収すること。

【保管】
 施錠して保管すること。

【廃棄】
 内容物/容器を適切な焼却炉で焼却するか、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

国・地域情報

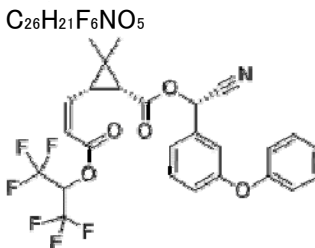
3. 組成及び成分情報

化学物質

単一製品、混合物の区分
 化学名又は一般名

混合物
 (S)- α -シアノ-3-フェノキシベンジル=(Z)-(1R,3S)-2,2-ジメチル-3-[2-(2,2,2-トリフルオロ-1-トリフルオロメチルエトキシカルボニル)ビニル]シクロプロパンカルボキシラート

分子式(分子量)
 化学特性
 (示性式又は構造式)



CAS番号
 官報公示整理番号
 (化審法・安衛法)
 分類に寄与する不純物及び
 安定化添加物
 濃度又は濃度範囲

101007-06-1
 化審法：
 安衛法：4-(7)-1674
 データなし
 3.0% (他97%は界面活性剤、鋳物質微粉等)

4. 応急措置

吸入した場合	被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させる。多量の水、温水またはうがい薬を用いてうがいをさせ医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	直ちに水で洗い流した後、石鹼でよく洗う。洗浄後、皮膚に異常がある場合は医師の手当てを受ける。衣服類は汚染物を洗い落として着用する。
目に入った場合	清浄な水で15分以上洗眼した後、痛みがあれば眼科医の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	無理に吐きださせないこと。活性炭を与えること。意識に障害がある場合は、上半身を起こして寝かせておく。直ちに医師を呼び、最寄りの中毒センターに連絡をとる。
予想される急性症状及び遅発性症状 最も重要な兆候及び症状 応急措置をする者の保護 医師に対する特別注意事項	データなし データなし データなし 対症療法

5. 火災時の措置

消火剤	粉末消火剤、二酸化炭素、泡、砂など。
使ってはならない消火剤	データなし
特有の危険有害性	データなし
特有の消火方法	燃焼時に有害で刺激性のガスを発生するので、消火作業の際には呼吸装置を着用して、消火剤で消火作業を行う。
消火を行う者の保護	データなし

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置	処理作業の際には保護具を着用し、直接触れないように注意して作業する。
環境に対する注意事項	漏出した物質が、河川、湖沼、海域及び養殖場、植栽地、畑作地に飛散、流入しないよう注意する。
回収・中和	床面などにこぼれた場合は直ちに掃きとり、空容器に収納する。
封じ込め及び浄化方法・機材 二次災害の防止策	データなし 飛散した場所の周辺にはロープを張るなどして、人の立ち入りを禁止する。風下では作業しない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策	『8. ばく露防止措置及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
	注意事項	ラベルをよく読むこと。吸い込んだり眼や皮膚に触れないよう長袖の作業衣、保護眼鏡、不浸透性手袋、農薬用マスクを着用して、顔等を石鹼でよく洗い、うがいをすると共に衣類を交換する。
	安全取扱い注意事項 局所排気・全体換気	データなし 『8. ばく露防止措置及び保護措置』に記載の局所排気・全体換気を行う。
保管	技術的対策 混触危険物質 保管条件	施錠して保管すること。涼しい所/換気の良い場所で保管す データなし 密封し直射日光を避け、食品と区別して冷涼・乾燥したところに保管する。
	容器包装材料	データなし

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	未設定
許容濃度 (ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
OSHA PEL	未設定
ACGIH TLV(s)	未設定
日本産業衛生学会	未設定
設備対策	局所排気装置の設置、設備の密閉化、または全体換気を適正に行うことが望ましい。
保護具	呼吸器の保護具 手の保護具 眼の保護具 皮膚及び身体の保護具
衛生対策	定められた作業衣、安全靴を着用する。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。取扱後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状 形状	粉末
色	類白色
臭い	無臭
pH	3.8
融点・凝固点	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	データなし
引火点	データなし
自然発火温度	データなし
燃焼性(固体、ガス)	データなし
爆発範囲	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
蒸発速度(酢酸ブチル=1)	データなし
比重(密度)	0.35±0.05g/mL
溶解度	水に分散する。
オクタノール・水分配係数	データなし
分解温度	データなし
粘度	データなし
粉じん爆発下限濃度	データなし
最小発火エネルギー	データなし
体積抵抗率(導電率)	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	通常取り扱い条件において安定
危険有害反応可能性	酸化剤、強酸及びハロゲン類と反応
避けるべき条件	データなし
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	データなし

11. 有害性情報

急性毒性 経口	ラットを用いた経口投与試験において、LD50: > 5,000mg/kg
経皮	ラットを用いた経皮投与試験において、LD50: > 2,000mg/kg
吸入	吸入(ガス): GHS定義における固体である。 吸入(蒸気): データなし 吸入(粉じん): データなし

皮膚腐食性・刺激性
眼に対する重篤な損傷・刺激性
呼吸器感作性又は皮膚感作性

生殖細胞変異原性
発がん性
生殖毒性
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)
吸引性呼吸器有害性

ウサギにおいて、極軽度の刺激性あり
ウサギにおいて、軽度～中程度の刺激性あり
呼吸器感作 モルモットにおいて、感作性なし
皮膚感作性: モルモットにおいて、感作性なし

データなし
データなし
データなし
データなし
データなし

吸入したとき、刺激がしばしば認められる。既往として呼吸器系の疾患(喘息、アレルギー)がある場合、いかなる被曝も避けること。

12. 環境影響情報

水生動植物に対する影響

コイ; LC50: 3.5mg/L (96時間)
オオミジンコ; LC50: 1.6mg/L (48時間)
藻類; EbC50: 0.098mg/L (0-72時間)

その他

蚕に対して影響を及ぼすため、散布えきが桑葉にかからないように注意する。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄前に、可能な限り無毒化、安定化及び中和等の処理を行って、危険有害性のレベルを低い状態にする。廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに委託して処理する。廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。本製品を含む廃液及び洗浄排水を直接河川等に排出したり、そのまま埋め立てたり投棄することは避ける。

汚染容器及び包装

農薬の空容器、空袋等の処理は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等の関連法規を遵守し、適切に行う。

14. 輸送上の注意

国連番号
品名
国連分類
容器等級
海洋汚染物質
注意事項

3077
環境有害物質(固体)
クラス9(有害危険性物質)
PGIII
該当
包装、容器が破損しないように水漏れや乱暴な取扱いを避ける。

15. 適用法令

農薬取締法
化学物質管理促進法(PRTR法)
労働安全衛生法

第18953号(CBC株式会社)
指定化学物質: 該当物質なし
第57条の2条1項名称等の通知対象物質: シリカ

16. その他の情報

1 本資料の記載事項は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、記載内容は新しい知見により改定されることがあります。

- 2 記載の注意事項は通常の手扱いを対象とした参考情報です。取扱いの際は用途・用法に適した安全対策を実施して下さい。
- 3 本資料は情報提供の目的のために作成されたものであり、その記載内容を保証するものではありません。

中毒の緊急問い合わせ先： 財団法人 日本中毒情報センター

中毒110番	一般市民向け相談電話 (無料)	医療機関専用有料電話 (一件につき2,000円)
大阪(365日、24時間対応)	072-727-2499	072-726-9923
つくば(365日、9～21時対応)	029-852-9999	029-851-9999

ただし、上記の何れも通話料は相談者の負担となります。